

「不安や心配なことがあったら、相談しよう！」

～6月15日（月）放送での校長先生のお話～

緑野小学校のみなさんおはようございます。分散登校にも慣れて、元気に学校生活を過ごしていると思います。校長先生は、先生方にも、先生の立場から分散登校の様子について話を聞いてみました。すると「みんな決まりを守って、学校生活を送ることができています。」

「授業時間が30分と短いので、学習内容をしっかり教えるために工夫をしています。」「先生たちも子供たちもみんなマスクをしているので、表情が分かりづらいです。学習したことが分かったのか分かっていないのか、分からないことがあります。」というお返事が返ってきました。校長先生も、マスクをしているので相手の表情が分からないなと思ったことがたくさんあります。だから、校長先生は相手のお話が分かったら、うなづくようにしています。分からなかったら首をかしげるという方法もありますが、授業中で分からないことがあったら、手を挙げて先生に質問するとよいでしょう。

さて、まだクラス全員のお友達がそろって登校していませんね。特に、クラス替えのあった学年の人たちは、「お友達ができるかな？」と不安になったり心配したりしていませんか？ほかに、病気にならないかな、お友達と仲良くできるだろうか、など不安や心配を抱えている人はいませんか？不安や心配を抱えながら生活を続けていくと、体の調子が悪くなることもあります。そうならないように、不安や心配がある人は、だれでもいいので自分が一番話しやすい人に相談するようにしてください。もちろん、おうちの人に相談してもいいです。学校には、先生方やスクールカウンセラーさんや教育相談員さんがいますから、相談することができます。お友達でもいいです。困ったことは、自分一人で抱え込まずにしっかり相談して、解決をさせてください。そして心も体も元気に生活できるようにしていきましょう。